



令和元年度 中学校新人体育大会指導者講習会 兼中体連審判研修会

令和元年6月26日（水）
福岡県ハンドボール協会
審判長 川端 祐貴

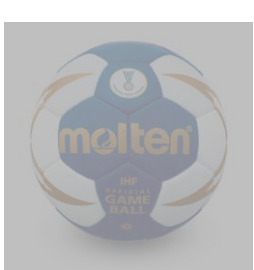


24th IHF
WOMEN'S HANDBALL
WORLD CHAMPIONSHIP
KUMAMOTO / JAPAN 2019



TOKYO 2020





【本研修会の流れ】

●はじめに

〔14：00～14：05〕

●演習 競技規則の活用について

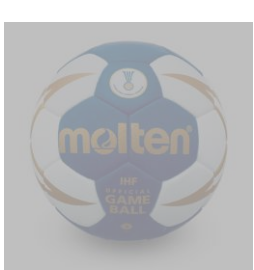
〔14：05～14：20〕

●研修 2019年度審判員の心得・目標

〔14：20～14：50〕

●連絡事項 & 質疑応答

〔14：50～15：00〕



審判手帳に今日の講習会について
各自で記載をしてください。今日お持ちで
ない方は帰宅後手帳に記載していただき、
後日会場等で押印をします。

①年 月 日：令和元年6月26日

②講習会名：令和元年度
福岡県ハンドボール協会
中体連審判研修会

③主 催 者：福岡県ハンドボール協会

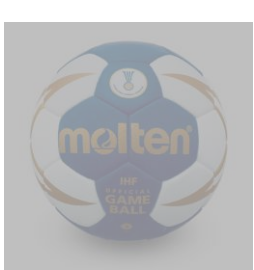
④開催場所：多々良中央中学校

⑤講 師 名：川端 祐貴

⑥確 認 印：後ほど押印していただきます



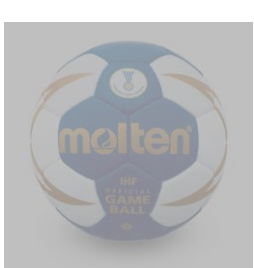
TOKYO 2020



● 演習

競技規則の活用について

〔 14 : 05 ~ 14 : 20 〕



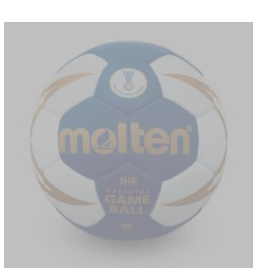
●演習① 競技規則の活用について

● この競技規則問題を解いてみましょう！

1. Bチームのスローインになった。B7は正しくスローインの位置について、ゴールキーパーA12がゴールのかなり前に立っているのに気づいて、無人のゴールをめがけて直接シュートを狙った。コートプレイヤーA3がゴールエリアに侵入してボールを止めた。
- (a) 得点
 - (b) Bチームのフリースロー
 - (c) Bチームの7mスロー
 - (d) A3に段階的罰則を適用

▲ 以下は競技規則の条文である。どこに書かれているか条項および、「競技規則書2019年版」の記載ページを教えてください

番号	条文	条項	ページ
1	どのスローも直接得点することができる。ただし、ゴールキーパー スローにおける「自殺点」（つまり、ボールが手からこぼれ落 ちて自チームのゴールの中に入る場合）はありえない。	の	p.
2	コート上のあらゆる場所で、相手チームのプレイヤーやチーム役 員が明らかな得点チャンスを妨害したとき。	の	p.
3	戦術的な理由で、繰り返しゴールエリアに侵入する。	の	p.



●演習① 競技規則の活用について

● この競技規則問題を解いてみましょう！

1. Bチームのスローインになった。B7は正しくスローインの位置についたとき、ゴールキーパーA12がゴールのかなり前に立っているのに気づいて、無人のゴールをめがけて直接シュートを狙った。コートプレイヤーA3がゴールエリアに侵入してボールを止めた。
- (a) 得点
 - (b) Bチームのフリースロー
 - (c) Bチームの7mスロー
 - (d) ~~A3に段階的罰則を適用~~ 繰り返せばYC！

▲ 以下は競技規則の条文である。どこに書かれているか条項および、「競技規則書2019年版」の記載ページを教えてください

番号	条文	条項	ページ
1	どのスローも直接得点することができる。ただし、ゴールキーパー スローにおける「自殺点」（つまり、ボールが手からこぼれ落ちて自チームのゴールの中に入る場合）はありえない。	15の2 スローの実施	p.46
2	コート上のあらゆる場所で、相手チームのプレイヤーやチーム役員が明らかな得点チャンスを妨害したとき。	14の1a 7mスロー	p.44
3	戦術的な理由で、繰り返しゴールエリアに侵入する。	8の7 違反・S.S.	p.30



●演習① 競技規則の活用について

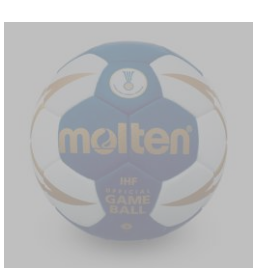
●この問題も同様に解いてみましょう！

2. 競技の中断中に、B3はBチームで初めて不正交代をした。これはBチームへのフリースローが判定された後であった。この試合でB3は、まだ警告や2分間退場となっていなかった。

- (a) B3を警告
- (b) B3を2分間退場
- (c) Aチームのフリースロー
- (d) Bチームのフリースロー

▲以下は競技規則の条文である。どこに書かれているか条項および、「競技規則書2019年版」の記載ページを教えてください

番号	条文	条項	ページ
1	不正交代をしたプレーヤーは、2分間退場となる。同じチームの2名以上のプレーヤーが一度に不正交代をした場合は、最初に違反したプレーヤーへの罰則が適用される。	の	p.
2	競技規則13:a~bにより、通常フリースローを判定するような違反が競技の中断中に起こった場合は、その中断の理由に相応しいスローで競技を再開する。	の	p.



●演習① 競技規則の活用について

●この問題も同様に解いてみましょう！

2. 競技の中断中に、B3はBチームで初めて不正交代をした。これはBチームへのフリースローが判定された後であった。この試合でB3は、まだ警告や2分間退場となっていなかった。

- (a) B3を警告
- (b) B3を2分間退場
- (c) Aチームのフリースロー
- (d) Bチームのフリースロー

▲以下は競技規則の条文である。どこに書かれているか条項および、「競技規則書2019年版」の記載ページを教えてください

番号	条文	条項	ページ
1	不正交代をしたプレイヤーは、2分間退場となる。同じチームの2名以上のプレイヤーが一度に不正交代をした場合は、最初に違反したプレイヤーへの罰則が適用される。	4の5 チーム・交代	p.15
2	競技規則13:a~bにより、通常フリースローを判定するような違反が競技の中断中に起こった場合は、その中断の理由に相応しいスローで競技を再開する。	13の3 フリースロー	p.40



●演習① 競技規則の活用について

●次にこの競技規則問題を解いてみましょう！

3. A 2 は2分間退場となったが、1分経過したところで、コーチがA 2 をコートへ戻した。タイムキーパーが笛を吹く前に、すでにA 2 はBチームの明らかな得点チャンスを妨害していた。」
- (a) Bチームのフリーストールとし、A 2 を新たに2分間退場とする。」
 - (b) Bチームの7 mスローとし、A 2 を新たに2分間退場とする。そしてAチームはコート上のプレーヤーを残りの退場時間（1分間）さらに1名減らす。」
 - (c) Bチームの7 mスローとし、A 2 を失格とする（報告書を伴わない）。そして、Aチームはコート上のプレーヤーを残りの退場時間（1分間）さらに1名減らす。」
 - (d) Bチームの7 mスローとし、A 2 を失格とする（報告書を伴う）。そして、Aチームはコート上のプレーヤーを残りの退場時間（1分間）さらに1名減らす。」

▲以下は競技規則の条文である。どこに書かれているか条項および、「競技規則書 2019年版」の記載ページを教えてください。

番号	条文	条項	ページ
1.	2分間退場中のプレーヤーがコートに入った場合は、さらに2分間退場となる。この退場は直ちに適用され、最初の退場と次の退場の重複する間、チームはコート上のプレーヤーをさらにもう1名減らさなければならない。」	の	10.
2.	不正に入場がしたプレーヤー（4：6）や交代地域にいるプレーヤーが、競技に影響を与えて明らかな得点チャンスを妨害したとき。」	の	10.
3.	コート内外に関係なく、プレーヤーやチーム役員による8：9や8：10に該当する著しくスポーツマンシップに反する行為や極めてスポーツマンシップに反する行為。」	の	10.



●演習① 競技規則の活用について

●次にこの競技規則問題を解いてみましょう！

3.	A 2 は2分間退場となったが、1分経過したところで、コーチがA 2 をコートへ戻した。タイムキーパーが笛を吹く前に、すでにA 2 はBチームの明らかな得点チャンスを妨害していた。
(a)	Bチームのフリーストールとし、A 2 を新たに2分間退場とする。
(b)	Bチームの7mスローとし、A 2 を新たに2分間退場とする。そしてAチームはコート上のプレーヤーを残りの退場時間（1分間）さらに1名減らす。
(c)	Bチームの7mスローとし、A 2 を失格とする（報告書を伴わない）。そして、Aチームはコート上のプレーヤーを残りの退場時間（1分間）さらに1名減らす。
(d)	<u>Bチームの7mスローとし、A 2 を失格とする（報告書を伴う）。ブルーカード。そしてAチームはコート上のプレーヤーを残りの退場時間（1分間）さらに1名減らす。</u>

▲以下は競技規則の条文である。どこに書かれているか条項および、「競技規則書 2019年版」の記載ページを教えてください。

番号	条文	条項	ページ
1.	2分間退場中のプレーヤーがコートに入った場合は、さらに2分間退場となる。この退場は直ちに適用され、最初の退場と次の退場の重複する間、チームはコート上のプレーヤーをさらにもう1名減らさなければならない。	4の6	p.15
2.	不正に入場したプレーヤー（4：6）や交代地域にいるプレーヤーが、競技に影響を与えて明らかな得点チャンスを妨害したとき。	8の10	p.32
3.	コート内外に関係なく、プレーヤーやチーム役員による8：9や8：10に該当する著しくスポーツマンシップに反する行為や極めてスポーツマンシップに反する行為。	16の6	p.52

以下は競技規則の全文である。どこに書かれているか妥速および「競技規則書 2019年版」の記載ページを記載しなさい。

番号	全文	妥速	ページ
1	防衛側チームのコートプレーヤーがゴールエリアに侵入し、これによって得るかな得点チャンスな攻撃した場合は、7mスロー(14.1a) 「ゴールエリアに侵入する」とは、ゴールエリアラインに触れるということではなく、明らかにゴールエリア内に踏み込むことを意味する。		
2	不正交代なしたプレーヤーは、2分罰退となる。同じチームの2名以上のプレーヤーが一處に不正交代な場合は、最初に出場したプレーヤーの罰則が適用される。		
3	交代地域におけるプレーヤーやチーム役員の数、交代プレーヤーの出入場、コート上での治療行為を受けた後の攻撃回数などの管理など、他の任務については共同で遂行するものとする。これらの判断は、タイムキーパーとスコアラーの事実調査に基づくものとする。		
4	スローオフやスローイン、フリースローに際して、攻撃側プレーヤーがすぐにスローを行って不利にならないとは、レフェリーは防衛側プレーヤーの不正な位置を正してはならない。しかし、不利になるときは不正な位置を正さなければならない。		
5	コートの周囲には、サイドラインに沿って幅1m以上、ゴールラインの後方に幅2m以上の安全地帯を設けなければならない。		
6	攻撃しよう、あるいはシュートしようという意図を示さないで、チームがボールを所持し続けることは許されない。同様に、各チームのスローオフやフリースロー、スローイン、ゴールキーパー・スローの意図を偽り隠し隠滅することと許されない(競技規則解説4を参照)。		
7	規則違反に対して罰則を適用する場合、違反されたチームが不利になるなければ、レフェリーは直ちに競技を中断してよい。そうでない場合は、状況が継続するまで、罰則の適用を待たなければならない。		
8	ゴールキーパーの片足がゴールキーパーライン(4mライン)上か、その後方にあれば、他方の足または身体他のあらゆる部分、ラインを越えた空中で動かすことは許される。		
9	両レフェリーが1つの違反に対して審判したとき、あるいはボールがコートから出た時に、どちらかのチームがボールを所持するかについて両レフェリーの見解が異なった場合は、両レフェリーが協議した後に合意した判定を適用する。どうしても合意に達することができないときは、コートレフェリーの見解を優先する。		
10	(延長戦を含む)前後半の(終了)試合の時に、あるいは終了試合と同様に行われた違反やスポーツマンシップに反する行為に対しては、たとえばそれに伴うフリースロー(14.1a)や7mスローが終了試合までに実施できなくとも、罰則を適用しなければならない。		

以下は競技規則の全文である。どこに書かれているか妥速および「競技規則書 2019年版」の記載ページを記載しなさい。

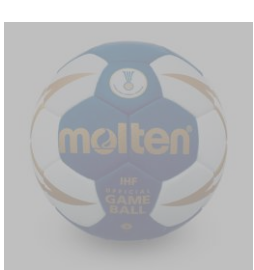
番号	全文	妥速	ページ
1	防衛側チームのコートプレーヤーがゴールエリアに侵入し、これによって得るかな得点チャンスな攻撃した場合は、7mスロー(14.1a) 「ゴールエリアに侵入する」とは、ゴールエリアラインに触れるということではなく、明らかにゴールエリア内に踏み込むことを意味する。	6の2c	p. 20
2	不正交代なしたプレーヤーは、2分罰退となる。同じチームの2名以上のプレーヤーが一處に不正交代な場合は、最初に出場したプレーヤーの罰則が適用される。	4の5 第1段結	p. 15
3	交代地域におけるプレーヤーやチーム役員の数、交代プレーヤーの出入場、コート上での治療行為を受けた後の攻撃回数などの管理など、他の任務については共同で遂行するものとする。これらの判断は、タイムキーパーとスコアラーの事実調査に基づくものとする。	18の1 第3段結	p. 57
4	スローオフやスローイン、フリースローに際して、攻撃側プレーヤーがすぐにスローを行って不利にならないとは、レフェリーは防衛側プレーヤーの不正な位置を正してはならない。しかし、不利になるときは不正な位置を正さなければならない。	15の4	p. 47
5	コートの周囲には、サイドラインに沿って幅1m以上、ゴールラインの後方に幅2m以上の安全地帯を設けなければならない。	1の1 第2段結	p. 2
6	攻撃しよう、あるいはシュートしようという意図を示さないで、チームがボールを所持し続けることは許されない。同様に、各チームのスローオフやフリースロー、スローイン、ゴールキーパー・スローの意図を偽り隠し隠滅することと許されない(競技規則解説4を参照)。	7の11 1、2文目	p. 24
7	規則違反に対して罰則を適用する場合、違反されたチームが不利になるなければ、レフェリーは直ちに競技を中断してよい。そうでない場合は、状況が継続するまで、罰則の適用を待たなければならない。	13の2 第4段結	p. 40
8	ゴールキーパーの片足がゴールキーパーライン(4mライン)上か、その後方にあれば、他方の足または身体他のあらゆる部分、ラインを越えた空中で動かすことは許される。	5の11注	p. 19
9	両レフェリーが1つの違反に対して審判したとき、あるいはボールがコートから出た時に、どちらかのチームがボールを所持するかについて両レフェリーの見解が異なった場合は、両レフェリーが協議した後に合意した判定を適用する。どうしても合意に達することができないときは、コートレフェリーの見解を優先する。	17の7 第1段結	p. 56
10	(延長戦を含む)前後半の(終了)試合の時に、あるいは終了試合と同様に行われた違反やスポーツマンシップに反する行為に対しては、たとえばそれに伴うフリースロー(14.1a)や7mスローが終了試合までに実施できなくとも、罰則を適用しなければならない。	2の4 第1段結	p. 9



●演習① 競技規則の活用について

この演習を通して感じてほしかったことは...

- 指導者もルールに精通しておくことで選手・チームを守ることができる。
- レフェリーは競技規則にある項目を基に判定をしていかなければならない。
- ルールに関して疑問点が出たら、ルールブックを開いて答えを探してみることをお勧めします。



● 研修

2019年度審判員の心得・目標

〔14：20～14：50〕

【2019 年度 審判員の目標】

(公財) 日本ハンドボール協会 審判委員会
指導委員会

1 『審判員の心得 10箇条』

- | | |
|-------------|------------|
| ① リーダーシップ | ⑥ 身体上の適正 |
| ② 誠実さ | ⑦ ユーモアのセンス |
| ③ ルールに関する知識 | ⑧ 勇気 |
| ④ 冷静さ | ⑨ 協調性 |
| ⑤ 正しい判断 | ⑩ 仲間意識 |

2 『コンタクトプレーを正しく見極める』

ハードプレーとラフプレーの見極め（競技規則 8:1 ～ 8:3）

競技規則第8条「相手に対する動作」は攻撃側、防御側の双方に適用する。レフェリーは、身体接触の際、両者の位置関係（先に位置をとっていたのはどちらのプレーヤーなのか）と、違反があった場合は、その違反を受けたプレーヤーへの影響を正しく見極めなければならない。

- ① 防御側プレーヤーが、不利な位置（横や後ろからボールを対象とせず）から攻撃側のプレーヤーに接触を試みたならば、競技規則8の2、8の3の判断基準をもとにラフプレーとして判断する。
- ② 競技規則8の3（d）の「違反行為の影響」を見極める。違反を受けたプレーヤーがボディーコントロールを失っていないかどうか、すぐに帰陣できないほどの影響があるかを見極める。もしも、違反を受けたプレーヤーがボディーコントロールを失うことなくプレーをしたならば、スピーディーなゲーム展開となるよう、アドバンテージを適用して安易に競技を中断してはならない。また、違反を受けたプレーヤーへの影響を見極めて、罰則を適用するかどうかの判断をする。

< 研究課題 >

- ◆ モダンハンドボールの適用については、各連盟、カテゴリーの実態に応じて検討する。
- ◆ スピーディーなゲーム展開となるよう競技規則を適切に運用する。
- ◆ コーチ、プレーヤーとのコミュニケーションの取り方。ボディーランゲージ (Body Language) や口頭説明を用いて、プレーヤーとコンタクトを取り、基準を示す。
- ◆ ゴールレフェリーが、ゴールエリアライン付近の攻防をきちんと管理する。



2019年度 審判員の目標

コンタクトプレーを
正しく見極める

～モダンハンドボールの考え方から～



モダンハンドボール



近年のハンドボール競技の特徴
⇒ 激しいボディークンタクト
スピーディーなゲーム展開

リオ・オリンピック
以降、さらに強調

「ハードプレーとラフプレーの見極め」

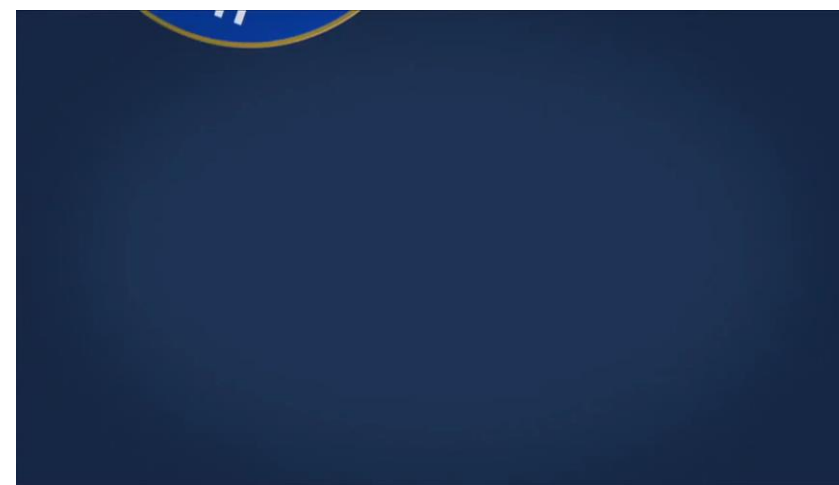
<2019、2020、そしてその先・・・>
われわれレフェリーが、理解し、整理し、
解決していかなければならない課題

コンタクトプレーを 正しく見極めるために

「ハードプレーとラフプレーの見極め」

競技規則第8条「相手に対する動作」

⇒ 攻撃側、防御側の**双方**にあてはまる



<身体接触の際>

- ◆ 両者の**位置関係**
- ◆ 違反を受けたプレーヤーへの**影響**

競技規則 8 : 1 (a) ~ (c)



次の行為は**許される**

- (a) 他のプレーヤーの手からボールを取るために、開いた片手を使うこと
- (b) 相手の身体に接触し、そのまま相手の動きに合わせてついていくために、**曲げた腕**を使うこと
- (c) 位置取りをめぐり、相手をブロックするために**胴体**を使うこと

ハードプレーとラフプレーの見極め (防御プレイヤーの位置と防御行為)

防御行為の **ハードプレー** とは・・・

- ◆ 攻撃側プレイヤーの正面
- ◆ 競技規則 8 : 1 の状況（例えば、曲げた腕）
- ◆ 相手の安全面を守る



接触の度合いが強かったとしても
ハードプレー として認める



良いディフェンスの例

(正面・曲げた腕・ボールに対してプレーする)



D F プレーヤーは、**曲げた腕**を使いながら、相手正面に入り、ついていっている。

オフエンシブファールの例 (先に位置を取る・正面)



D Fはボールを持ったO Fプレイヤーに対して、
先に正面に位置を取っている。
レフェリーの判定は正しい。
オフエンシブファール⇒相手チームのフリースロー。

ハードプレーとラフプレーの見極め (レフェリングの際の**ポイント**)

【 **大切な判断基準（事実判定の根拠）** 】

- ① **ボディークントロール**は？
- ② **ボールに対するプレー**？
- ③ プレーヤーへの**影響**は？

① ボディークントロール

⇒ シュートを打ち切ったかどうか

もしも、ボディークントロールを
失わずにプレーできているならば・・・

- ◆ ゲームの流れを重視
- ◆ 安易に競技を**中断しない**

7 m スローの判定や
罰則の適用 などにより

モダンハンドボール

(ハンドボールの**面白さ**) を表現する

② ボールに対するプレー



防御プレーヤーの位置と防御行為

- ◆ ボールを対象としていない
- ◆ 不利な位置から接触を試みた
⇒ **ラフプレー** として判定

横から

後ろから

(競技規則 8 : 2、8 : 3)



8の3
段階罰 (YC)
以上が必要



③ プレーヤーへの影響

どの罰則を適用するかについての判断基準(8:3)

- a) 違反行為をしたプレーヤーの **位置**
 - ・ 相手に対して、正面？側面？後方？
- b) 違反行為が対象とした **身体の部位**
 - ・ 胴体？シュートしている腕？脚？頭部？喉？首？
- c) 違反行為の **激しさの程度**
 - ・ 接触の強度は？相手の動きの速さは？

d) 違反行為の影響



8の3
段階罰 (YC)



8の4
2分間退場



8の5
失格 (RC)



8の6
報告書を伴う
失格 (BC)

DFのコンタクトによる シューターへの影響を見極める



シューターは、最終的にDFのコンタクトなしにシュートを打ち切っている。**ゴールイン**。

違反を受けたプレーヤーへの影響もないため、罰則は不要。

シュートを外したとしても、そのまま継続。罰則も不要。

視点

①DFの位置 ②OFの影響 ③シュートへの影響



DFは積極的に前へ動きながらコンタクトを試みている。
決してオフエンシブファールに**してはいけない**。
違反を受けたプレーヤーへの影響もないため、罰則は不要。
ゴールイン。シュートを外したとしても、そのまま継続。

ピボットプレーの場合



ピボットがボールをキャッチした時、DFはピボットへのコンタクトを止めた。そのため、ピボットは、ボディーコントロールを失わずにシュートを打ち切った。

ゴールイン。罰則は不要。

シュートを外したとしても、そのまま継続。罰則も不要。

DFのコンタクト（正しい位置ではない） シューターへの影響



シューターへのコンタクトの影響はなく、ボディーコントロールを失わずにシュートを打ち切っている。

ゴールイン。罰則は不要。

シュートを外したとしても、そのまま継続。罰則も不要。

ただし、カテゴリーによっては影響がある

最近のレフェリングの傾向

①得点後のYCは



②クイックスタートの妨害は



③後半にYCは



④ユニフォームをつかむ行為には



ただし、カテゴリーによっては柔軟に対応を！

即座に2分間退場とすべき違反行為 (8:4)



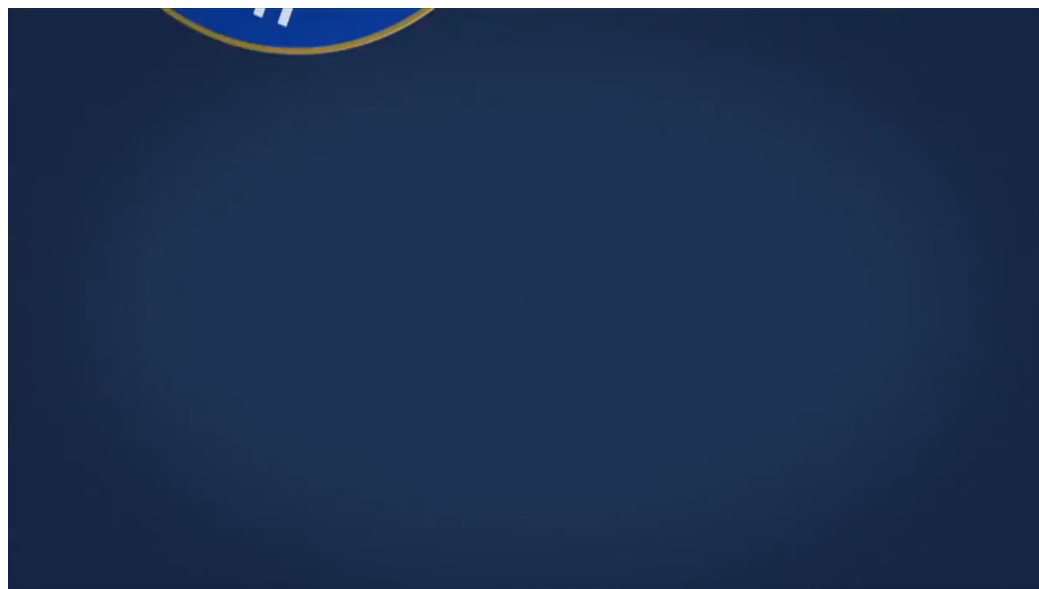
- a) 衝撃の大きい違反行為や、**高速**で走っている相手に対する違反
- b) 相手を**背後から捕まえ続ける**こと、あるいは**引き倒す**こと
- c) **頭や喉、首**に対する違反
- d) 胴体やボールを投げようとしている**腕を激しく叩く**こと
- e) 相手が**身体のコントロールを失う**行為をしようとすること
(例：ジャンプ中の相手の足/脚をつかむ。8:5aを参照)
- f) 高速でジャンプして、あるいは走って相手にぶつかること

開始直後でも、即座に2分間退場もありうる！

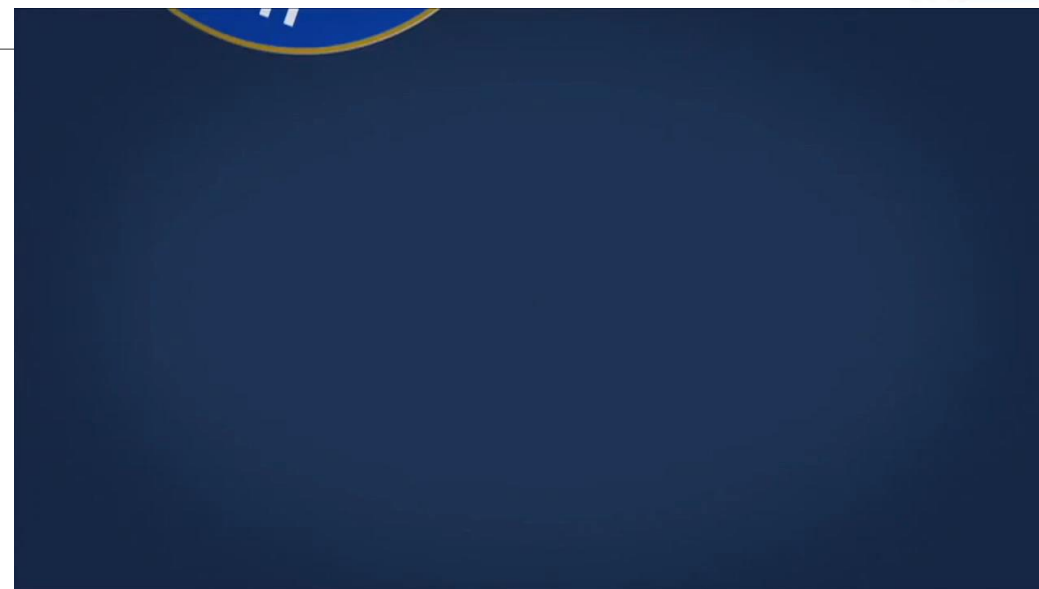
即座に2分間退場とすべき違反行為



①



②



③

**A yellow card is never issued when there is a direct 2min.
Rule 8:4 must be the decision when there is clear pushing
and pulling down of the attacker, no matter if the ball
is involved or not.**

直接の2分間退場を判定すべき違反の場合、決してイエローカードにしてはならない。
ボールの保持にかかわらず、攻撃側のプレーヤーを明らかに押したり引き倒したり
した場合、競技規則8の4に基づき判定しなければならない。

④



即座に2分間退場とすべき ピボットプレーヤーに対する違反行為

①



②



③

ピボットを長く捕まえ続け、背後より引き倒そうとする行為に対しては、決してイエローカードを判定してはならない。
試合のどの局面においても、直接の2分間退場を判定しなければならない。

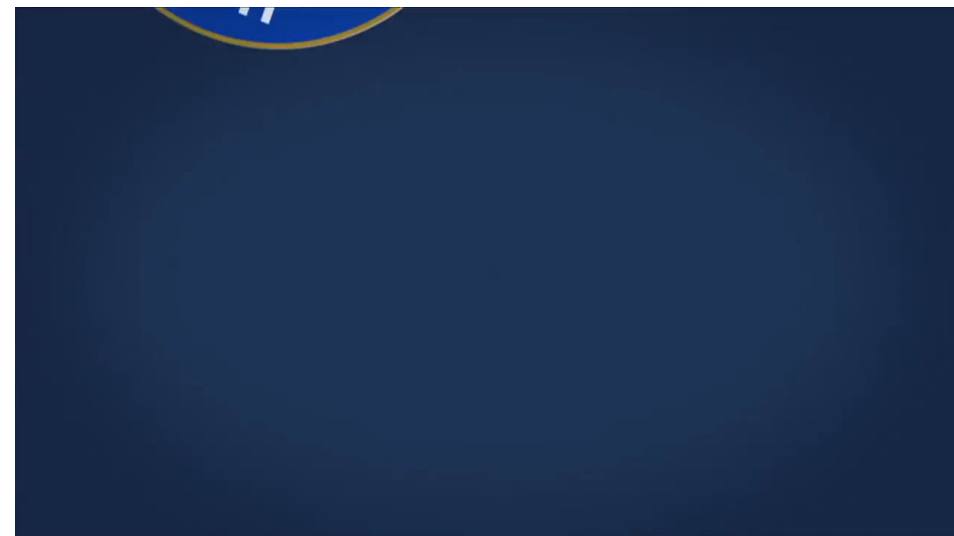


2分間退場以上の判定が必要な 違反行為

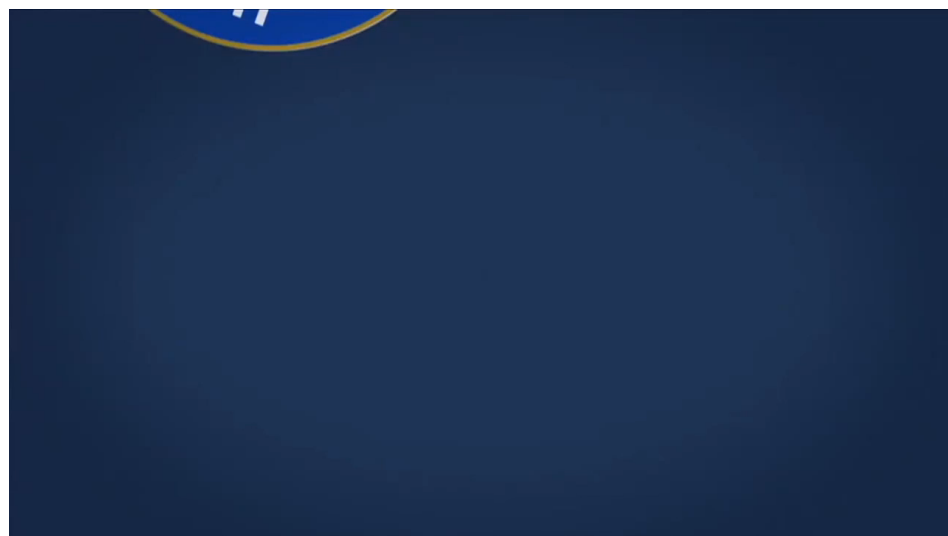
①



②



③



8の5
失格 (RC)



2分間退場以上の判定が必要な違反行為

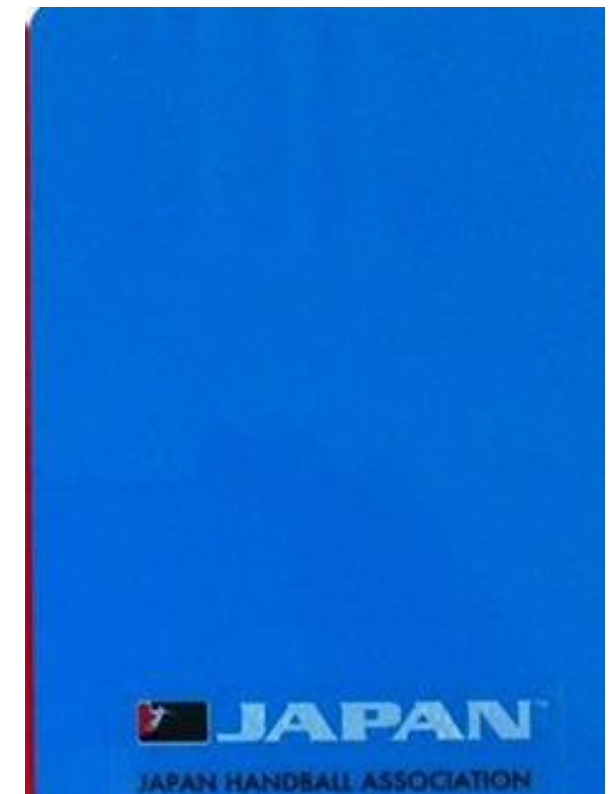
①



②



8の6
報告書を伴う
失格 (BC)



これからのレフェリーの役割

- ◆世界の流れ
⇒ スピーディーなゲーム展開
- ◆競技規則 8 : 3 ⇒ **判断基準**
・・・ **影響を見極めて判定**
- ◆プレーを**正確に観察できる**位置取り

これからのレフェリーの役割 ～前半のうちに基準（許容範囲）を示す～

前半のうちに

インフォメーション

ボディランゲージ

段階的罰則

基準（許容範囲）
を伝えていく

⇒ 後半に罰則を適用する必要があるようにする
（もちろん**罰則を適用する準備**は必要）

これからのレフェリーの役割

～一試合を通して～

60分の中で

起きた現象
プレーの質

良いプレーを保証し
悪いプレーを排除する

違反を受けたプレーヤーへの影響を見極め
罰則を適用するかどうかの判断をする

世界が目指すモダンハンドボール



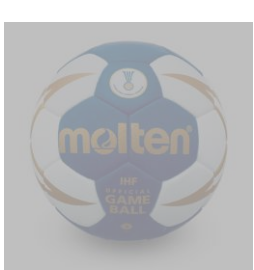


2019年度 審判員の目標

コンタクトプレーを
正しく見極める

～モダンハンドボールの考え方から～





● 連絡事項 & 質疑応答

[14 : 50 ~ 15 : 00]



●連絡事項 年度更新・D級取得・C級申請について

年度更新

条件：前年度に年1回の審判講習会・研修会に出席（自筆のサインが必要）

手順：公認審判員更新登録申請書を県審判部に提出→登録料 3,000 円を県審判部に納入

時期：4月15日まで

※詳細はHP→審判部→「公認審判員更新登録について」をご覧ください。

D級取得

条件：なし

手順：日本ハンドボール協会公認審判員D級申請書（今年度分）を県審判部に提出
→審査料+認定料 5,000 円を県審判部に納入

時期：年中どの時期でも可能

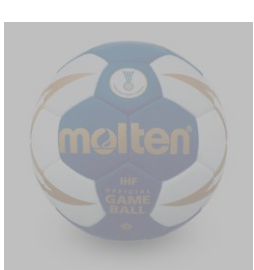
※詳細はHP→審判部→「公認審判員D級申請・資格取得について」をご覧ください。

C級申請

条件：D級取得より1年+公式試合を1試合以上担当（手帳に記録）

手順：日本ハンドボール協会公認審判員C級申請書（今年度分）を県審判部に提出準備
→審査料+認定料 4,000 円を県審判部に納入 ※HP 参照

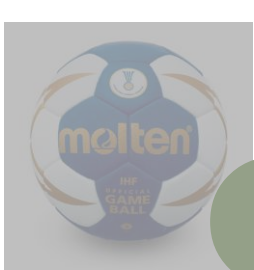
時期：2・3月に開催の県ルール伝達講習会・審判講習会の午後に申請書類審査+手帳検査+筆記試験を実施（この日に都合がつかない場合は別途ご連絡ください）



●連絡事項 県審判委員会の組織について

審判部	審判部長：川端 祐貴		審判部補佐：今泉暢禎	
	種別	審判長	サポートスタッフ	
			指導	普及
	小学校	新井 努 (春吉Jr.)	青木 修司 (ヴェークヴァイザー福岡)	佐々木 克典 (ヴェークヴァイザー福岡)
	中体連	中島 敬人 (大宰府特別支援学校)	清永 真宏 (原北中)	野口 翔太郎 (松崎中)
	高体連	安永 剛 (香椎高校)	村山 功太 (筑紫女学園高校)	井手 孝行 (西南学院高校)
	学連	森川 壽人 (九州共立大)	田代 智紀 (九州共立大)	梶原 康司 (福岡大)
	社会人	中島 敬人 (FHC)	樋口 貴之 (西南学院大)	諏訪辺 竣 (ジラーフス)
	女性レフェリー育成		島村 奈央美	北原 亜佑子
	ヤングレフェリー育成		佐藤 高行	小川 拓海

お困りのことやご相談などがあれば各種別の審判委員にお尋ねください。



● 連絡事項 新ワッペンについて

本年度から完全にA級・C級のワッペンが変わります。まだ新しいワッペンを購入していない方は、川端よりご購入ください。本日持参しています。お声掛けください。



← **A級 1,620円**

C級 1,404円 →



手帳の記入について

現在販売中の審判手帳には試合と講習会のどちらの記録も記入することができるようになりました！

記載すべき内容

- ①年月日
- ②大会名または講習会名（～大会）
- ③主催者（高体連・～協会など）
- ④試合結果または講習会開催場所
（勝利チームを左側に記入する）
- ⑤ペアレフェリーまたは講師名
- ⑥確認印（県内大会はすべて川端印でOK）



県協会または日本協会から購入可能です

試合後すぐ記入をする習慣を！